

## ゆく年くる年 ～過去の感動と未来への決意～

＜令和4年最終授業日 全校集会放送講話＞

本日で令和4年の授業日は最後となります。令和4年も残り一週間となりました。

今年こそ今年こそはと願ってはいましたが、残念ながら今年も、新型コロナウイルスの感染者が劇的に減ることはありませんでした。新型コロナウイルスが終息することはありませんでした。

この3年間でただ一つはっきりしたことがあるとすれば、私たちはこの新型コロナウイルスや、あるいはこれから出現するかもしれない新たな感染症、自然災害やネット上のトラブル等の様々な大きなリスクに直面したとしても、現実を直視し、冷静に対応し、時には上手に付き合っていかなければならない術を身に付けていかねばならないということです。今更ながら、いずれいい方向に転換するだろうとか、誰かが何とかしてくれるだろう、といった安易な楽観論や他力本願から決別し、ふん切りをつけなければなりません。そのような決意をあらためて新たにすべき時だと思えます。

ウィズ(With)コロナ、アフター(After)コロナの時代はこれからも続きます。コロナも生活の一部として上手に付き合いながら学校生活や日常生活を送っていきましょう。

さて、今年、学校は創立40周年を迎えました。先日40周年記念誌も配付しました。その中の「これまで一番感動したこと」と「20年後の自分」の皆さんのコメントから、他人とは比べることのできない、これまでのかけがえのないそれぞれの豊かな人生の歩みと、希望に満ちた未来への展望や可能性を感じとることができて、本当にうれしく思いました。

以前にも話をしましたが、一時間一時間の授業終わりにも、「自分はこの授業で何がわかり、何ができるようになったのか」の『振り返り』を大切にすることで、新しい知識や能力を確実に身に付けられるような取組をしています。

同様に、その時々や人生の節目節目で自分の歩みを振り返り、これまでの出来事や自分の言動を思い返して整理し、工夫したり改善したり見直したりできることは何かということを実感することが、自身の今後の成長や発展につなげる上で重要だと考えます。

年末になると、各家庭でも大掃除をすることでしょうが、自分の身の回りをきれいに整理整頓するように、心の中も整理しながら新たな未来に向けた準備を万全にしてほしいと思います。

令和4年度も残すところ3か月。しっかりと『振り返り』を通して有終の美を飾れるように、令和5年の学校生活や日常生活につながる仕上げの12月、そしてすばらしい新年のスタートの1月を迎えられるよう、有意義な冬休みにしてください。